



# 放射線利用の現状( 1 / 2 )

正誤表

新計画策定会議(第19回)

資料第3号9頁

「突然変異育種の育成品種」に放射線によるもの以外も計上していた。放射線によるもののみの品種数に訂正。

放射線利用の市場規模は拡大している。

## (1) 放射線の利用例と規模の変化

	平成9年度	平成15年度
半導体加工 (リソグラフィ、不純物導入等の加工)	5.4兆円	6.3兆円 (世界半導体市場日本協議会の統計データより試算)
突然変異育種の育成品種	91種 <del>161種</del>	140種 <del>178種</del>
PET(陽電子断層撮像法)装置の導入台数	36台 (平成9年)	56台 (平成14年) (平成14年から保険適用)
新たな放射線利用	<p>床ずれ防止マット: 天然高分子に電子線・ガンマ線を照射することにより、保温性、弾力性に優れる材料を開発し、平成15年に商品化。市場シェアはほぼ100%。</p> <p>絆創膏: 天然高分子に電子線・ガンマ線を照射することにより、傷口に優しい絆創膏を開発。平成16年に商品化。</p>	



# 農業・環境・資源分野における放射線利用(1 / 5)

新計画策定会議(第19回)資料第3号21頁

「突然変異育種の育成品種」に放射線によるもの以外も計上していた。放射線によるもののみの品種数に訂正。その際、2003年2月までではなく、2003年までの品種数に訂正している。

## (1) 農業分野の利用の現状

ジャガイモの芽止めのための食品照射、不妊虫放飼法による害虫防除、放射線育種に利用されている。

### 食品照射



(未照射) (照射済み)  
放射線照射によるジャガイモ芽止め

食品や農畜産物に 線や電子線などを照射することによって、発芽防止、熟度遅延、殺菌、殺虫などの効果が得られ、食品の保存期間が延長されると期待されているが、国内においては現時点ではジャガイモの芽止め以外では認められていない。

### 害虫防除



放射線による不妊化でウリミバエを根絶

### 放射線育種



耐病性イネの作出



カーネーション等の作出

放射線照射による突然変異を利用して新品種を開発

140品種を開発(2003年 ~~2月~~ 現在)

~~178~~

イネでは、良食味、多収、耐倒伏性、早生などの品種の他、低アミロース、低グルテリン質等の新たな形質を持つ品種が開発された。また、新たな放射線育種法であるイオンビーム照射により、カーネーション等の新品種が作出されている。